

令和 5 年度

事業報告書

社会福祉法人串間市社会福祉協議会

1. 法人運営事業

①会議関係

名称	期日	会 場	出席者数	内 容
理事会	R5. 6. 6	総合保健福祉センター2階	7	1 令和4年度事業報告及び収支決算について(監査報告) 2 令和4年度串間市共同募金委員会一般会計収支決算について 3 令和5年度社協会費募集について 4 令和5年度共同募金実施計画(案)について 5 評議員の選任報告について 6 評議員会の招集事項(案)について
評議員会	R5. 6. 23	総合保健福祉センター2階	15	1 令和4年度事業報告及び収支決算について(監査報告) 2 令和4年度串間市共同募金委員会一般会計収支決算について 3 令和5年度社協会費募集について 4 令和5年度共同募金実施計画(案)について 5 理事・監事の選任について
理事会	R5. 6. 23	総合保健福祉センター2階	8	1 会長・副会長の選任について
理事会	R5. 6. 30	社会福祉協議会会議室	8	1 市木デイサービスセンター運営受託について(意向調査) 2 重層的支援体制整備事業について
臨時理事会	R5. 7. 12	社会福祉協議会会議室	8	1 指定管理事業受託(市木デイサービスセンター運営)について ※指定管理者意向確認について
理事会	R5. 9. 22	総合保健福祉センター2階	8	1 令和5年度一次収支補正予算(案)について 2 令和6年度予算要望について 3 指定管理事業受託(市木デイサービスセンター運営)について 4 令和5年度社協会費について
臨時理事会	R5. 10. 4	社会福祉協議会会議室	8	1 指定管理事業受託(市木デイサービスセンター運営)について ※理事・監事による意見集約及び決議
理事会	R6. 3. 13	総合保健福祉センター2階	9	1 令和5年度収支補正予算(案)について 2 令和6年度事業計画(案)について 3 令和6年度収支予算(案)について 4 令和6年度串間市共同募金委員会一般会計収支予算(案)について 5 役員等賠償責任保険契約について 6 事務局長の選任について 7 評議員候補者の選定について 8 評議員の招集事項(案)について
評議員会	R6. 3. 22	総合保健福祉センター2階	11	1 令和5年度収支補正予算(案)について 2 令和6年度事業計画(案)について 3 令和6年度収支予算(案)について 4 令和6年度串間市共同募金委員会一般会計収支予算(案)について

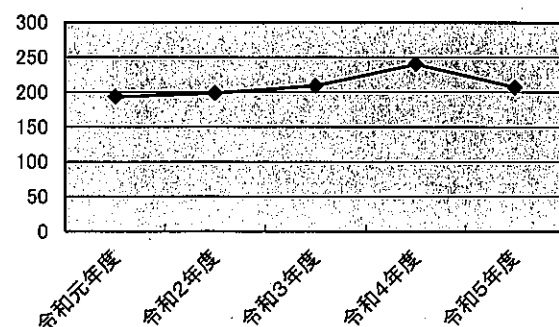
令和5年度香典返し寄附金収入

地区	件数	金額	平均額
福島地区	77	1,943,000	25,234
北方地区	37	1,065,000	28,784
大東地区	36	965,000	26,806
本城地区	17	570,000	33,529
都井地区	13	610,000	46,923
市木地区	8	280,000	35,000
その他	19	460,000	24,211
計	207	5,893,000	28,469

参考(過年度状況)

年度	件数	金額	平均額
令和元年度	193	5,728,000	29,679
令和2年度	198	5,115,000	25,833
令和3年度	209	5,695,000	27,249
令和4年度	240	6,696,000	27,900
令和5年度	207	5,893,000	28,469

香典返し年次別件数



2. 地域福祉推進事業

〔1〕 調査研究・企画広報・連絡調整等事業

①企画広報事業（社協情報誌「社協だより」の発行）

No.	発行年月日	内 容
166	令和5年5月1日	1 本城・都井地区生活支援サポーター養成講座開催 2 認知症の人と暮らす家族の集い 3 串間市地域包括支援センター（ひなた運転健康教室の開催について） 4 串間市地域包括支援センター（サロン会出前講座について） 5 串間市地域包括支援センターサテライト相談室の日程紹介について 6 学生服リユース事業の紹介について 7 フードバンク事業紹介について 8 新規職員紹介について（市木デイ、サロン事業、日常生活自立支援事業） 9 義援金のご寄附御礼について 10 社協会員会費報告について 11 香典返しご寄附御礼について
167	令和5年7月1日	1 ご寄附について（吉田産業株式会社） 2 令和4年度事業報告について 3 令和4年度串間市地域包括支援センター運営業務報告について 4 令和4年度社協法人単位資金収支決算について 5 認知症地域支援推進員「物忘れ」「介護」無料相談会の開催について 6 新規職員紹介について（串間市地域包括支援センター） 7 学生服リユース事業の紹介について 8 フードバンク事業のご寄附御礼について 9 串間市地域包括支援センター（ひなた運転健康教室の開催について） 10 串間市地域包括支援センターサテライト相談室の日程紹介について 11 市木デイサービスセンター職員の急募案内について 12 社協会員会費報告について 13 手話体験教室の開催案内について 14 香典返しご寄附御礼について
168	令和5年10月1日	1 認知症の人と暮らす家族の集いについて 2 フードバンク事業のご寄附御礼について 3 夏休みチャレンジ講座開催について（ボランティアセンター） 4 朗読ボランティア養成講座の受講者募集について（ボランティアセンター） 5 手話体験教室の開催報告について 6 第4回ボランティアフェスティバルの開催について 7 串間市地域包括支援センター（ひなた運転健康教室の開催と報告について） 8 串間市地域包括支援センターサテライト相談室の日程紹介について 9 新規職員紹介について（市木デイ） 10 職員募集について（社協および市木デイ） 11 市木デイサービスセンター活動紹介について 12 香典返しご寄附御礼について

169	令和6年1月1日	1 社会福祉協議会会長新年のあいさつ 2 市内小学校の福祉体験学習の開催について（ボランティアセンター） 3 防災講話の開催について（県下一斉ボランティア推進事業） 4 朗読ボランティア養成講座の開催について（ボランティアセンター） 5 令和5年度サロン大会の開催について 6 認知症総合支援事業「無料相談会」の開催について 7 認知症総合支援事業「ヘルプカード」の紹介について 8 認知症総合支援事業「認知症サポーター養成講座」の出張講座について 9 油津港まつり（弁甲競漕大会）への参加紹介について 10 ミニ講座のお知らせについて（消費生活センター、家族介護教室） 11 串間市地域包括支援センターサテライト相談室の日程紹介について 12 串間市民秋祭りパレード参加の紹介について（串間市民生委員・児童委員） 13 新規職員紹介について（相談員） 14 香典返しご寄附御礼について 15 一般ご寄附御礼について
170	令和6年3月1日	1 社協会員会費報告について 2 香典返しご寄附御礼について 3 一般ご寄附御礼について
171	令和6年3月31日	1. 赤い羽根共同募金特集号（一般募金および歳末たすけあい募金報告等）

②連絡調整事業

1) 小地域単位での地域福祉活動の推進（5地区・1校区社協の活動支援）

地区・校区社協名	設置年月日	主な活動内容
有明校区社協	平成7年11月	1 小地域助けあい活動事業の推進（サロン活動等）
北方地区社協	平成6年 2月	2 ふれあい活動（福祉バザー等）
大東地区社協	平成9年10月	3 高齢者等栄養改善料理教室
本城地区社協	平成5年10月	4 異世代間交流事業
都井地区社協	平成7年 6月	5 青少年の育成事業
市木地区社協	平成6年 8月	6 その他、各地区に応じた事業（文化伝承・環境美化活動等）

2) 連絡会議の開催状況

会議名	開催日	内 容
地区校区会長会議	令和5年6月28日	1 令和5年度各地区・校区社協活動助成金について 2 地区・校区社協を拠点とした『地域づくり』について ・各地区の現状等について情報共有 ・各地区における他の組織等との連携について

3) 民生委員児童委員協議会との連携及び要援護高齢者等の実態把握

4) 団体事務および活動支援

1. 串間市民生委員児童委員協議会

市民児協理事会 12回（毎月第1木曜日）

市民児協総会 年1回

各地区民児協 計66回（福島・北方・大東・本城・都井・市木）

各種研修会等 研修会や行事等の連絡調整と支援

2. 串間市さんさんクラブ連合会

市さ連総 1回 市さ連役員会 2回 女性部会 10回

県主催会議及び各種研修会への参加

県及び市さ連主催スポーツ大会への参加

3. ボランティア連絡協議会

ボランティア連絡協議会総会 1回

ボランティア連絡協議会理事会 7回

ボランティア連絡協議会全体会議 2回

宮崎県市町村ボランティア連絡協議会県南ブロック役員会 1回

宮崎県市町村ボランティア連絡協議会県南ブロック研修会 1回

4. 宮崎県共同募金会串間市共同募金委員会

・赤い羽根共同募金 期間：10月～3月＝令和5年度実績額：2,584,498円

・歳末たすけあい募金 期間：12月＝令和5年度実績額：213,804円

◆一般募金および歳末たすけあい募金配分

①高齢者福祉活動事業

（1）在宅寝たきり高齢者等おむつ配布（6月・9月・12月・2月配布）

②障がい者福祉活動事業

（1）串間市よつば会 （2）芽立ちの会

③児童青少年福祉活動事業

（1）福祉推進指定校助成（2）串間市スポーツ少年団育成費助成（3）福島地区青少年育成協議会事業費助成

④ボランティア活動や総合的な福祉活動事業

（1）広報費

5. 串間市赤十字奉仕団

・日赤社資募集月間 5月

・令和5年度実績額 1,866,750円

・日赤奉仕団活動支援 総会

青少年赤十字登録式参加（1校）

大東地区防災訓練（令和5年11月12日）

ボランティアフェスティバル（令和5年11月23日）

・青少年赤十字活動支援（串間中、福島・金谷・北方・都井・有明小）

・災害救護用品整備状況 保存水（500ml×500本）

毛布 90枚県支部預り

ヘルメット、軍手、雑巾等新規整備

・火災見舞（0件） 火災に見合われた世帯への支援【救援物資】

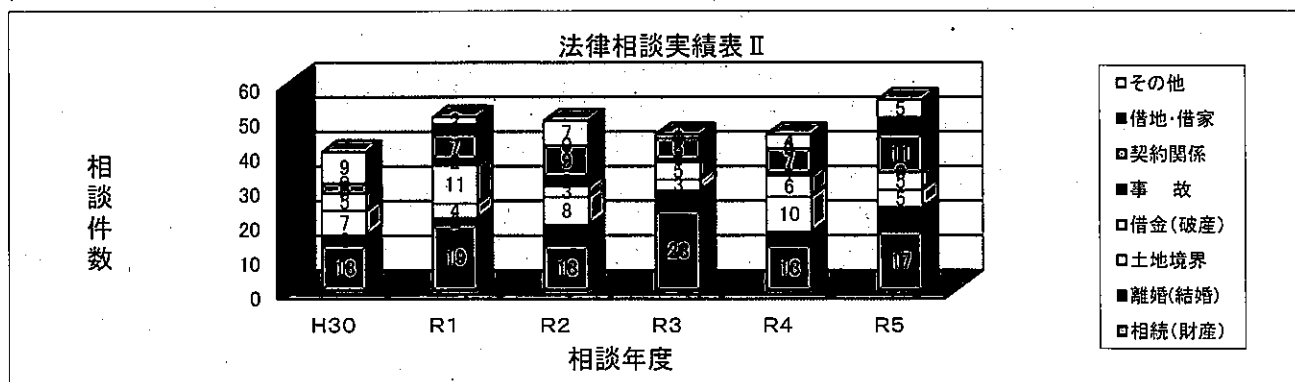
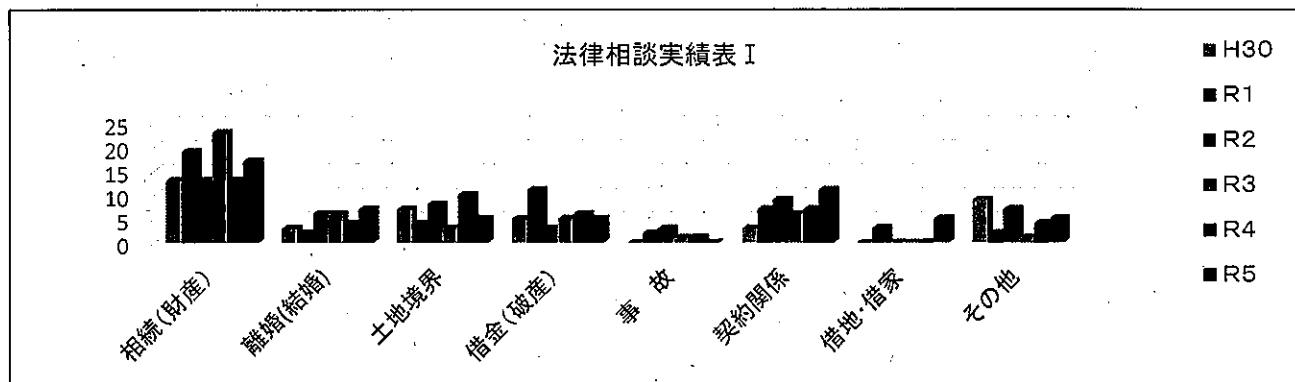
〔2〕 総合相談事業

① 相談内容及び実績

相談の種類	相談員	開設日数	相談件数	主な相談内容
(一般相談)	社協職員・公証役場	250	42	高齢者福祉、介護相談、遺言、相続、各種問合せ
法律相談（専門相談）	弁 護 士	12	55	相続、離婚、境界、借金

② 法律相談内容内訳

年度	相 談 件 数 及 び 内 容								計
	相続（財産）	離婚（結婚）	土地境界	借金（破産）	事 故	契約関係	借地・借家	その他	
H30	13	3	7	5	0	3	0	9	40
R1	19	2	4	11	2	7	3	2	50
R2	13	6	8	3	3	9	0	7	49
R3	23	6	3	5	1	6	0	1	45
R4	13	4	10	6	1	7	0	4	45
R5	17	7	5	5	0	11	5	5	55
計	98	28	37	35	7	43	8	28	284



〔3〕生きがい活動推進事業

①ふれあいいきいきサロン事業

(1) 設置数及び実施地区

福島地区	中本西方 本町1丁目 上町 西下弓田	東本西方 東金谷 木代 東下弓田	西本西方 西金谷 東今町 鍛冶屋	西小路1区 南金谷 南今町	西小路2区 北金谷 西今町	鹿谷 寺里 上塩	21区	15ヶ所
北方地区	串間 初田	屋治 秋山	古川 鯛取	徳間	田渕	東上池	9区	9ヶ所
大東地区	下新町 上新町 市ノ瀬3区	井牟田 三幸ヶ野 市ノ瀬4区	揚原 長野	古大内 三ヶ平	仲別府 市ノ瀬1区	中新町 市ノ瀬2区	14区	11ヶ所
本城地区	下千野 仲	下平 上南	道場 下南	上千野 上中園	上平 下中園	浦	11区	7ヶ所
都井地区	迫	東	立宇津	宮ノ浦			4区	4ヶ所
市木地区	内ノ畑 海北	上石波 郡司部	大藤 八ヶ谷	木や藤 古都	中福良 舳	石原	11区	10ヶ所
	合 計						70区	56ヶ所

(2) サロン活動実施状況

月	実施ヶ所数	実施回数	延べ参加人員
4月	53	53	365
5月	51	51	331
6月	50	50	340
7月	47	47	312
8月	31	31	203
9月	53	53	345
10月	47	47	305
11月	40	40	261
12月	34	34	223
1月	43	43	263
2月	48	48	296
3月	51	51	320
合計	548	548	3,564

(3) 地区別サロン大会開催状況

地区名	期日	会場	参加者	内容
福島地区	R05. 10. 25	串間市 総合体育館	105	屋内ゲーム
北方地区	R05. 11. 29	串間市農村環境 改善センター	59	屋内ゲーム
大東地区	R05. 10. 29	大東支所 体育館	69	屋内ゲーム
本城地区	R05. 11. 17	旧本城中学校 体育館	55	屋内ゲーム フリーマーケット
都井地区	R05. 11. 8	都井支所 体育館	34	屋内ゲーム、余興
市木地区	R05. 12. 2	市木中央 公民館	81	屋内ゲーム
計			403	

〔4〕日常生活自立支援事業『あんしんサポートセンター』

○事業の目的

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等に対し福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などの援助を行うことにより、在宅での自立した生活を送ることを支援するものである。

○事業の仕組み

宮崎県社会福祉協議会（実施主体）⇒ 市町村社協に業務の一部を委託

①業務内容（相談受付、相談者の調査、判断能力の評価、支援計画策定および評価と見直し、支援員の登録と派遣、援助活動の監督、契約の締結）

②相談の体制づくり（相談窓口を有する専門機関や他制度等との連携など）

③支援者、関係機関の協力体制づくり（ネット、情報の提供と共有）

i 職員配置状況

専門員	常勤	正規職員	1 名	計 3 名
生活支援員	非常勤	パート職員	2 名	

ii 事業実施状況

①相談援助件数（問い合わせ・相談援助）

令和5年4月～令和6年3月

内容 事項／対象者	本事業の利用に関するもの					合 計
	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	その他	
a. 問合せ件数 （制度、事業について）	14	3	5	6		28
b. 初回相談件数 （初回相談受付）	7	1	3	5		16
c. 相談援助件数 （ab以外）	315	101	177	190		783
合 計	336	105	185	201	0	827

②契約締結件数

事項／対象者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	うち 生活保護	合 計
契約者数	6	4	7	5	8	22
①自 宅	1	2	2	5	5	10
②施 設	4	0	1	0	0	5
③病 院	1	0	1	0	1	2
④グループホーム	0	2	3	0	2	5

内 容 事項／対象者	契約者別支援回数					合 計
	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	その他	
支援回数	479	181	267	285	0	1212
令和4年度実績	273	158	93	66	11	601

③利用料（利用者負担）

I 利用料金	1回1時間まで1,200円。（それ以降は30分ごとに600円を加算）
II 交 通 費	原則、実費とするほか次による。 ア. 自家用車、バイク利用の場合は1kmあたり15円を支給。 イ. バス等の公共交通機関利用の場合は、当該区間の費用とする。
III 内 容	※援助時間内容は、利用者宅での援助や金融機関・行政機関等での手続きに要した時間とし、利用者宅から手続き先への移動時間も含まれる。 ※生活保護費受給者の利用料は、公費助成があるため無料となる。

〔5〕生活困窮者自立相談支援事業【平成30年4月～委託事業】

平成27年4月から「生活困窮者自立支援制度」が全国的に実施。本事業は、個人へのアプローチのみならず、地域に対する働きかけを目標とした機能を担います。これにおいては、様々な生活課題について、制度の隙間なく必要な支援をコーディネートすることが必要とされます。また、地域に対する働きかけについても、関係機関や地域住民を含めた多様な社会資源の協力を得て生活困窮の早期把握や包括的な支援の提供を行うものとされます。

◆生活困窮自立支援制度の目的

社会経済の構造的な変化に対応し、これまで「制度の狭間」に置かれてきた生活保護受給者以外の生活困窮者に対する支援を強化するものであり、この制度の目標としては、「生活困窮者の自立と尊厳の確保」および「生活困窮者支援を通じた地域づくり」となります。

◆生活困窮自立支援制度の紹介 ※本市の場合

●自立相談支援事業【必須事業】…支援員が相談を受け、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、自立に向けた支援を行います。

●住宅確保給付金【必須事業】…離職などにより住居を失った方、または失う恐れの高い方には、就職に向けた活動をするなどを条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。
※ただし、一定の資産収入等に関する要件を満たしている方が対象。

●家計改善支援事業【任意事業】…相談者と共に多様な生活課題と向き合い、家計の状況を明らかにして相談者自身の家計を管理する力を高め、早期の生活再建を目指します。

i 職員配置状況

主任相談支援員	社会福祉士	1名	計2名
相談支援員	社会福祉主事	1名	

ii 事業実施状況

◎新規相談（件）

月	令和5年度【上半期】						計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	4	3	4	3	4	2	20

月	令和5年度【下半期】						計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
件数	10	2	3	2	8	2	27

新規相談者総数47名（前年度実績：77名）

◎相談者の年齢層（人）

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～79歳	80歳～
人数	1	5	1	5	11	9	5	10

【新規相談のうち就労に関わる相談支援実施状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	2	1	2	0	2	2	9
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
件数	4	0	1	0	3	0	8

就労相談者総数17名（前年度実績：20名）

※就労相談支援による失業者等雇用状況（企業、施設等）

一般就労者数22名（前年度実績：14名）

住居確保給付金は、就職に向けた活動をするなどを条件に一定期間、家賃相当額を自治体から家主へ支給します。この申請においては、自立相談支援機関にて申請を行い福祉事務所の決定を受けなければなりません。	相談件数	決定件数
	0件	0件

【家計改善支援事業】

令和5年度実績	相談件数	支援決定件数
	0件	0件

●学生服リユース事業…自宅で不要となった中学校、高校の制服等を社協で譲り受け、経済的困窮状態により、制服等を買いたくることが困難な世帯に提供します。

対象校	小学校ランドセル	串間中	福島高校	日南振徳	令和5年度実績
譲り受けた件数	5	4	1	0	10
提供した件数	0	5	0	0	5

〔6〕 ボランティアセンター事業

① ボランティアグループ登録状況（28グループ及び個人登録3名：計1,067名）

Nº	団 体 名	会員数	結成年月日	主な活動内容
1	串間地区更生保護女性会	60	S 39. 06月	犯罪の起こらない社会づくり。環境美化・募金活動等
2	串間市音声訳ボランティア「カナリヤ会」	11	H01. 12月	視覚障がい者支援活動、ボランティア養成講座の開催
3	福島高校インターアクト部	36	H04. 04月	福祉施設慰問、環境美化活動
4	串間市立串間中学校	382	H29. 04月	福祉施設慰問、環境美化活動
5	串間市スポーツ少年団	118	S 56. 04月	環境美化活動、募金活動
6	串間市食生活改善推進協議会	34	H03. 04月	市民の食生活改善活動、食育関連事業への協力
7	NPOくしま健康倶楽部	10	H07. 04月	健康づくり、介護予防等の出前講座等
8	串間市日赤奉仕団	83	S 43. 05月	防災・避難訓練時の協力や講習会の開催
9	串間市点訳サークル「カンナ」	5	H11. 04月	視覚障がい者支援活動、福祉教育への協力等
10	ハッピーライフ110	3	H11. 10月	高齢者の生きがいや体力づくり（グラウンドゴルフ等）
11	串間市立都井小学校みどりの少年団	21	S 50. 11月	環境美化活動、あいさつ運動
12	環境ボランティアグループ 環の会	10	H17. 05月	地球・自然環境保全、環境エコ推進活動
13	串間市「話し相手ボランティア」連絡会	12	H19. 09月	要援護者の訪問（話し相手や悩み事の傾聴）
14	せいふ会	3	H19. 11月	郷土の歴史や伝統の継承活動。
15	串間元気クラブ	32	H20. 07月	環境美化活動やまちづくり活動
16	ぼくじゃの会	7	H23. 12月	まちづくりネットワーク、環境保全推進活動
17	大黒グループ・イルカランド	23	H20. 07月	環境美化・清掃活動
18	串間手話サークル イルカ	12	H26. 05月	聴覚障がい者支援活動（手話普及活動等）
19	宮崎県防災士ネットワーク串間支部	28	H24. 01月	防災訓練等支援・発災時の活動支援・協力等
20	串間史談会	51	S 51. 05月	県南の郷土史研究や郷土文化財の研究保存
21	福島コミュニティ・アンド・スクールガード隊	35	H18. 01月	児童の登下校時の見守り・あいさつ運動
22	トライアングル	27	H25. 10月	福祉施設訪問（ハンドベル、柔力球、フラダンス披露）
23	一般社団法人 ひかり	4	H30. 03月	ボランティア活動等と利用者をつなぐ支援（社会参加交流）
24	NPO法人サード・プレイス	14	H31. 01月	地域高齢者の生きがい活動促進のための取組等
25	バラ園と四季の花咲くいこいの広場 秋山	3	H26. 04月	バラ園周辺の草取り、環境美化、接待等
26	にこにこクラブ地域ボランティアの会	15	R 04. 02月	地域連携活動の活発化（高齢者見守り、子供支援等）
27	石波海岸 未来へつなぐ渚の会	19	R 04. 02月	海岸・砂浜の自然保護活動等
28	北方地区青少年育成協議会	6	S 58. 06月	青少年の生活指導や福祉活動への協力、登下校の見守り活動
個人	各種活動参加の個人ボランティア	1	R 02. 08月	市内で開催される各種活動等への積極的な参加協力
個人	各種活動参加の個人ボランティア	1	R 04. 10月	環境美化、ゴミの分別活動。シェア・インストラクター
個人	イベント参加・環境美化等	1	R 03. 10月	環境美化や学校との連携、各イベントでのフリーマーケット
		1,067		

② 串間市ボランティア活動費助成事業の実施と主たる活動内容

- | | |
|----------------------------|---------------------------------|
| (1) 串間市スポーツ少年団 | 各地区沿道の環境美化運動、奉仕活動 |
| (2) 串間市「話し相手ボランティア」連絡会 | 高齢者宅等の訪問による話し相手、傾聴。 |
| (3) 串間市食生活改善推進協議会 | スキルアップ研修、研修用レシピ本作成。学習支援等への参加協力 |
| (4) 串間市点訳サークル「カンナ」 | 「広報くしま」「社協だより」の点訳と視覚障がい者への送付。 |
| (5) 串間市音声訳 カナリヤ会 | 「広報くしま」の音声訳と視覚障がい者への送付。 |
| (6) 都井小学校みどりの少年団 | 環境美化活動（海岸清掃活動、花植栽等） |
| (7) せいふ会 | 郷土の歴史や伝統の継承活動。 |
| (8) 串間史談会 | 郷土史研究。史跡マップ作製及び情報発信。 |
| (9) 串間手話サークル イルカ | 研修参加、福祉活動への参加協力。聴覚障がい者との交流 |
| (10) トライアングル | 歌・ハンドベル・柔力球・フラダンス披露によるコミュニティの確立 |
| (11) 環境ボランティアグループ環の会 | 環境保全の為の啓発活動（キャンプ・財付inくしまの開催等） |
| (12) 宮崎県防災士ネットワーク串間支部 | 防災・減災関連講座や避難訓練等実施、啓蒙活動等。 |
| (13) にこにこクラブ地域ボランティアの会 | 地域高齢者見守り活動や子供達へのサポート、環境美化活動等 |
| (14) 福島コミュニティ・アンド・スクールガード隊 | 児童の登下校時の安全見守り活動等（福島小学校区） |
| (15) ハッピーライフ110 | 高齢者等への生きがい支援（グラウンドゴルフ） |

③ ボランティア研修会等参加促進事業

- 宮崎県市町村ボランティア連絡協議会県南ブロック役員会
- 宮崎県市町村ボランティア連絡協議会県南ブロック研修会
- ボランティア情報誌発行
- ボランティアフェスティバル

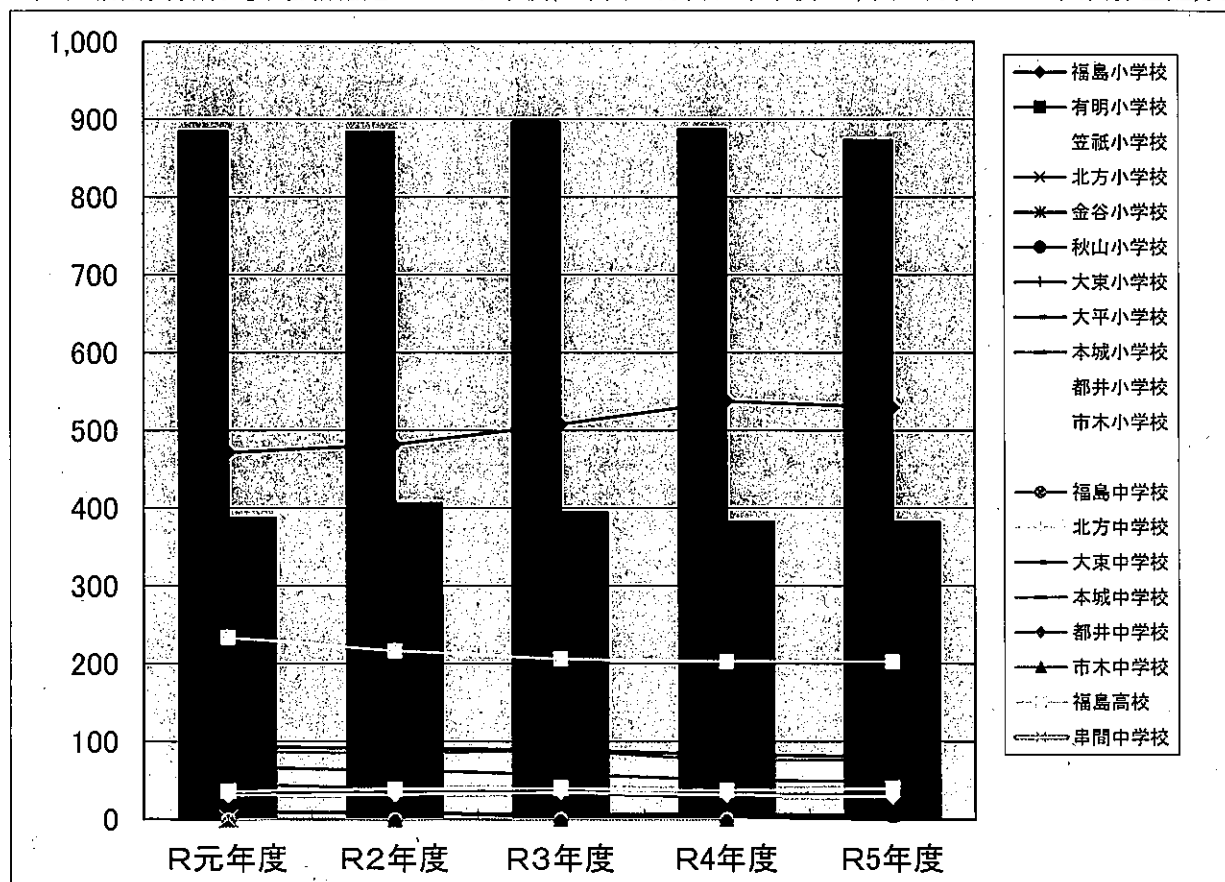
④ 社会福祉推進指定校事業

小学校、中学校、高等学校の児童・生徒を対象として社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒に社会福祉の向上に寄与しようとする実践能力を身につけさせることを目的とする。

(1) 指定校(10校) 過年度状況

学校名	児童・生徒数					指定期間
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
福島小学校	472	482	508	538	530	平成7年度から継続指定
有明小学校	67	63	58	51	48	平成7年度から継続指定
笠祇小学校	0	0	0	0	0	平成28年度から指定終了
北方小学校	87	85	89	76	77	平成元年度から継続指定
金谷小学校	33	35	34	29	33	平成7年度から継続指定
秋山小学校	9	8	6	7	5	平成2年度から継続指定
大東小学校	94	91	90	83	81	平成7年度から継続指定
大平小学校	10	8	4	3	0	令和5年度から指定終了
本城小学校	45	40	32	32	30	平成3年度から継続指定
都井小学校	31	32	35	31	29	平成2年度から継続指定
市木小学校	36	39	40	37	40	平成4年度から継続指定
小計	884	883	896	887	873	
串間中学校	387	406	394	382	382	平成29年度から指定
福島中学校	0	0	0	0	0	平成28年度をもって終了
北方中学校	0	0	0	0	0	平成28年度をもって終了
大東中学校	0	0	0	0	0	平成28年度をもって終了
本城中学校	0	0	0	0	0	平成28年度をもって終了
都井中学校	0	0	0	0	0	平成28年度をもって終了
市木中学校	0	0	0	0	0	平成28年度をもって終了
小計	387	406	394	382	382	
福島高校	234	217	206	203	203	平成25年度から指定中止
合計	1,505	1,506	1,496	1,472	1,458	

(2) 活動費助成 [市社協指定 : 小学校・年間3万円、中学校・年間5万円 : 共同募金配分金]



(3) 主な活動状況

学校名	内 容
福島小学校	◇実施概要：勤労生産活動や認知症に関する学習を通じて奉仕的活動や高齢者に対する理解を深め、福祉に関しての意識の高揚を図る。また、生涯学習の基礎である学校教育において、人間尊重の精神を培い、学校・家庭・地域の連携を図るため、福祉教育を推進する。 ◇活動内容：JRC（青少年赤十字）活動、環境美化活動、栽培活動、あいさつ運動、認知症サポーター養成講座
有明小学校	◇実施概要：地域の高齢者との交流を通して、福祉の心の育成を図る。さらに、それぞれの活動と道徳教育等を関連させることによって、児童の社会福祉に対する意識を高め、心の教育の充実に努める。 ◇活動内容：高齢者とのふれあいグリーントime（高齢者の指導を受けながら学級園への花植え及び交流）餅つき会（餅つきや昔の遊びを地域高齢者と行い交流を図る）
北方小学校	◇実施概要：地域や地域の方々へ、親しみと高齢者を敬い思いやる心を育む為に、地域高齢者をはじめ福祉施設高齢者、青年部等との交流と体験活動に取り組むとともに地域の行事への参加。また、勤労意欲の育成を図り、自然の恵みへの喜びや感謝の念を持つ為に、花や米の栽培活動に取り組む。 ◇活動内容：米作り体験、栽培活動、せんだん祭り（昔の遊び体験等）福祉体験学習（アイマスク体験、点字体験、高齢者疑似体験）
金谷小学校	◇実施概要：全教育活動における地域の人々とのかかわりを大切にした活動を通して、ふるさとを愛する心や相手を思いやる心を育む活動を行う。 ◇活動内容：花栽培活動（民生委員児童委員との交流兼）、運動会・餅つき大会での家族や祖父母との交流、募金活動
秋山小学校	◇実施概要：地域高齢者との交流活動を通して、思いやりの心を育てるとともに、社会福祉への理解を深め、社会のために進んで活動しようとする意欲を養う。 ◇活動内容：クリーン活動（通学路の環境美化）、グラウンドゴルフ交流会・親子そば打ち体験（地域高齢者とのふれあい含む）、千羽鶴贈呈式、地域高齢者へのはがき送付
大東小学校	◇実施概要：社会福祉についての勤労・奉仕的な活動体験を通して、生命の尊さや思いやりの心を育成し、福祉に対する実践的な態度を育てる。 ◇活動内容：あいさつ運動、栽培活動、運動会での保護者、地域高齢者とのふれあい、居住地交流（手紙交換）、募金活動、福祉体験介護教室（高齢者疑似体験と講話：施設との連携協力依頼）
本城小学校	◇実施概要：一人一人の児童に、奉仕の精神や思いやり、感謝の心を育てることをねらいとし、勤労生産的活動や地域の方々とのふれあい活動を行う。 ◇活動内容：栽培活動（米・芋・花・野菜栽培）、きゅうりちぎり体験（地域のきゅうり栽培農家で地元保育園の園児とのふれあい体験）、もちつき（学習農園で育てたもち米使用）、地域高齢者との交流・会食等。認知症サポーター養成講座
都井小学校	◇実施概要：心の教育の充実に努めるとともに、その実践の場として勤労生産活動、奉仕活動、地域の方々とのふれあい等の機会を意図的・計画的に設け、社会福祉の基盤となる「思いやり」「生命尊重」の精神と「気付く」「行動する」実践的態度を育てる。 ◇活動内容：都井地区ボランティア清掃（通学路や海岸清掃）、地域保育園児との交流（祭り）、学習発表会、校内ボランティア活動（花の苗植えや除草等）
市木小学校	◇実施概要：児童の情操を豊かにする美化活動及び福祉体験、奉仕活動、ふれあい活動（グラウンドゴルフ） ◇活動内容：校内外の花壇の整備、一人一鉢活動、人権学習、福祉体験学習（高齢者疑似体験、アイマスク体験）地域高齢者（デイサービス利用者）とのふれあい、地域行事への参加（市木浜清掃）
串間中学校	◇実施概要：全校生徒を対象とした福祉活動の推進。学校だけの活動にとどまらず、地域に根ざし地域住民と深いつながりをもった取り組みを行うなかで、主体的に地域福祉に貢献しようとする態度を身に付けさせる。 ◇活動内容：環境美化活動、施設入所者への暑中見舞いカード作成・配布及び訪問。市内の小学6年生へ、新入生歓迎カードを作成（入学式の際に配布）、ボランティアフェスティバルへの参加（展示型）

〔7〕地域支援（介護予防）事業

介護予防教室（血圧測定、転倒予防・ストレッチ体操、体力測定等）

	開催数	参加者 男	参加者 女	合 計	備 考
4月	53 教室	63 人	302 人	365 人	血圧測定、ストレッチ体操、脳トレ体操、ボール体操 リズム体操、ラジオ体操、体組成・体力測定 セルフマッサージ さんさんクラブ説明会（社協・行政） 室内ゲーム
5月	51 教室	59 人	272 人	331 人	血圧測定、体組成・体力測定、ストレッチ体操、 看護学生実習、リンパマッサージ、耳つぼマッサージ、 折り紙（こいのぼり）、脳トレ体操、包括講話（周知・啓発） 認知症勉強会（社協）、話相手ボランティア案内
6月	50 教室	57 人	283 人	340 人	血圧測定、タオル体操、ストレッチ体操、脳トレ体操 認知症勉強会（社協）包括講話（周知・啓発） 防災講話（危機管理課）、室内ゲーム、体組成・体力測定 看護学生実習
7月	47 教室	56 人	256 人	312 人	血圧測定、棒体操、ストレッチ体操、包括講話（周知・啓発） 室内ゲーム、七夕飾り付け作成、脳トレ体操、合唱・音読 防災講話（危機管理課）、生活支援講話（SC）
8月	31 教室	34 人	169 人	203 人	血圧測定、新聞紙でごみ箱作り、ストレッチ体操、 包括講話（周知・啓発）、脳トレ体操、ツボマッサージ 室内ゲーム、防災講話（危機管理課）、頭の体操、棒体操
9月	53 教室	64 人	281 人	345 人	血圧測定、ストレッチ体操、脳トレ体操、タオル体操 棒体操、合唱、音読、セルフマッサージ、足つぼマッサージ 包括講話（周知・啓発）、防災講話（危機管理課） 頭の体操、室内ゲーム、グラウンドゴルフ
10月	47 教室	50 人	255 人	305 人	血圧測定、ストレッチ体操、スカーフ体操、脳トレ体操 包括講話（周知・啓発）、防災講話（危機管理課） 合唱、頭の体操、手指マッサージ、室内ゲーム
11月	40 教室	50 人	211 人	261 人	血圧測定、ストレッチ体操、スカーフ体操、脳トレ体操 包括講話（周知・啓発）、防災講話（危機管理課） 合唱、頭の体操、グラウンドゴルフ、室内ゲーム セルフマッサージ、防犯講話（串間警察署）
12月	34 教室	37 人	186 人	223 人	血圧測定、ストレッチ体操、タオル体操、脳トレ体操 包括講話（周知・啓発）、防災講話（危機管理課） 合唱、頭の体操、グラウンドゴルフ、棒体操 セルフマッサージ、認知症勉強会
1月	43 教室	48 人	215 人	263 人	血圧測定、ストレッチ体操、脳トレ体操、福笑い 防災講話（危機管理課）、包括講話（周知・啓発） 嚙下体操、早口言葉、セルフマッサージ ヒートショックについて
2月	48 教室	52 人	244 人	296 人	血圧測定、ストレッチ体操、脳トレ体操、棒体操、 タオル体操、防災講話（危機管理課）、防災スリッパ作り 合唱、下肢運動、交番講話、包括講話（周知・啓発）
3月	51 教室	55 人	265 人	320 人	血圧測定、ストレッチ体操、脳トレ体操、ボール体操 セルフマッサージ、リンパマッサージ、室内ゲーム グラウンドゴルフ、棒体操、タオル体操
合 計	548 教室	625 人	2939 人	3564 人	

3. 生活福祉資金等貸付事業

〔1〕 たすけあい金庫貸付事業

① 目 的

この事業は、低所得世帯の臨時的な緊急出費に対し、早急の資金の貸付を行い、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進を図ることを目的とする。

② 貸付対象

たすけあい金庫の貸付対象となる世帯は、市内に6ヶ月以上居住する低所得世帯とする。

③ 貸付の種類

- (1) 生活費（生活費の一時立替に要する経費）
- (2) 冠婚葬祭費（冠婚葬祭に要する経費）
- (3) 医療費（医療または出産に要する経費）
- (4) 就職・生業費（就職・生業に要する経費）
- (5) 教育費（子弟の教育に要する経費）
- (6) 災害援護費（災害の応急措置に要する経費）
- (7) 住宅費（住宅の補修等に要する経費）
- (8) その他（特に緊急を要する経費）

④ 貸付金の限度額 【一世帯につき2万円以内】

⑤ 貸付状況

年度別	貸付件数	貸付金額	償還金額	償還内訳		過年度内訳	
				現年度分	過年度分	前年度分①	①以前の分
平成29年度	13	260,000	202,000	132,000	70,000	55,000	15,000
平成30年度	4	80,000	135,000	37,000	98,000	76,000	22,000
令和 元年度	12	240,000	115,000	65,000	50,000	28,000	22,000
令和 2年度	6	120,000	163,000	50,000	113,000	98,000	15,000
令和 3年度	9	170,000	192,000	127,000	65,000	30,000	35,000
令和 4年度	8	160,000	69,000	30,000	39,000	36,000	3,000
令和 5年度	0	0	184,000	0	184,000	62,000	122,000

〔2〕 生活福祉資金貸付事業『世帯単位』

① 目 的

資金の貸付と必要な相談支援を行い、安定した生活を送れるようにすることを目的とする。
本事業は、宮崎県社会福祉協議会と借受人・連帯保証人が契約を結ぶことになりその相談窓口を市町村社協が行います。

令和5年度	決定件数： 0件	貸付決定金額： 0円
	延べ貸付件数： 0件	合計金額： 0円

② 貸付決定実績

令和5年度	相談件数	貸付件数
	8 件	0 件

※本制度は、低所得世帯・障害者世帯・高齢者世帯を対象に基本要件に基づいた相談支援を行います。他の公的給付や貸付制度等を受けることが可能な場合は他制度優先となります。

〔3〕 生活福祉資金貸付事業【特例貸付】

① 目 的

令和2年3月25日～令和4年9月末の期間において、新型コロナ特例貸付に係る相談支援を実施。これに対し、令和5年度より特例貸付の借受人に対する相談支援業務を行います。

② 業務内容

- (1) 償還に関する問い合わせの対応
- (2) 償還手続き及び償還免除申請手続きの支援（書類内容の説明や申請書類の作成支援）
- (3) 特例貸付償還など生活の困りごとに関する相談への対応
- (4) 償還免除者への支援（他の支援制度へのつなぎ等）
- (5) 償還滞納者の状況把握（償還困難な借受人世帯の状況把握）

4. 介護保険事業

■通所介護事業及び日常生活支援総合事業

	総合事業		通所介護		合 計	
	利用人員	延べ回数	利用人員	延利用回数	利用人員	利用回数
4月	19	88	15	173	34	261
5月	20	102	15	182	35	284
6月	18	96	15	183	33	279
7月	18	83	15	174	33	257
8月	18	83	15	157	33	240
9月	18	80	16	178	34	258
10月	22	99	15	186	37	285
11月	21	101	14	150	35	251
12月	20	90	10	108	30	198
1月	20	93	9	103	29	196
2月	20	104	10	110	30	214
3月	22	105	10	114	32	219
合 計	236	1,124	159	1,818	395	2,942

■食の自立支援（要介護者）及び配食サービス（要支援、自立者）事業実績（市木地区）

	食の自立支援事業			配食サービス事業			実績合計
	登録人員	利用人員	延べ配食数	登録人員	利用人員	延べ配食数	
4月	4	4	60	3	3	44	104
5月	4	4	69	3	3	50	119
6月	4	4	66	3	3	49	115
7月	4	4	63	3	3	46	109
8月	4	4	60	3	3	45	105
9月	4	4	63	2	2	38	101
10月	5	5	93	2	2	28	121
11月	5	5	92	3	3	38	130
12月	5	5	92	3	3	36	128
1月	5	5	77	2	2	24	101
2月	5	5	60	2	2	29	89
3月	5	4	70	4	4	42	112
合 計	54	53	865	33	33	469	1,334

■通所介護事業月別実績表

月	事業対象者		要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		人 数	回 数
	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数		
4月	12	50	3	10	4	28	3	28	8	105	4	40	0	0	0	0	34	261
5月	12	56	3	12	5	34	3	34	7	96	5	52	0	0	0	0	35	284
6月	12	56	2	8	4	32	3	35	7	92	5	56	0	0	0	0	33	279
7月	11	43	3	12	4	28	3	33	7	94	5	47	0	0	0	0	33	257
8月	11	42	3	11	4	30	4	34	7	90	4	33	0	0	0	0	33	240
9月	11	40	3	10	4	30	4	38	7	98	4	41	0	0	1	1	34	258
10月	14	53	4	16	4	30	4	44	7	101	4	41	0	0	0	0	37	285
11月	13	52	4	18	4	31	4	39	6	75	4	36	0	0	0	0	35	251
12月	11	38	4	16	5	36	2	27	4	53	4	28	0	0	0	0	30	198
1月	11	40	3	12	6	41	3	35	3	41	3	27	0	0	0	0	29	196
2月	11	47	3	13	6	44	4	35	3	46	3	29	0	0	0	0	30	214
3月	12	44	4	15	6	46	4	40	3	44	2	21	1	9	0	0	32	219
合 計	141	561	39	153	56	410	41	422	69	935	47	451	1	9	1	1	395	2,942

5. 生活支援体制整備事業

○事業の目的

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療・介護のサービス提供のみならず、NPO法人、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人、社会福祉協議会介護サービス事業所、シルバー人材センター、老人クラブ、商工会、民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加推進を一体的に図っていくことを目的とする。

○実施内容

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置

- ・高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくために、生活支援等サービスの提供体制構築に向けてコーディネート機能を有する者の配置。

協議体の設置

- ・生活支援等サービスの体制整備に向けて、多様な主体の参画が効果的な取り組みにつながる為、コーディネーターと生活支援等サービスの多様な提供主体が参画する定期的な情報の共有・連携強化の場を設置することにより、多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制整備を推進する。

（協議体の構成団体は行政機関、地域包括支援センター、コーディネーター、社会福祉協議会、社会福祉法人、NPO法人、地縁組織、ボランティア団体等である）

○活動実績

実施項目	内容
1. 資源（ニーズ把握）	・サロン会等への訪問を有効活用し聞き取り実施（※住民課題及び地域課題の把握等） ・各地区における集いの場の把握と参加 ・相談対応（来所及び訪問等によりニーズの把握等） ・各地区における既存組織及び団体の把握
2. 資源開発	・本城地区生活支援サポーター養成講座の開催及び登録 生活支援サポーター新規登録：5名 ※サポーターの活動の場へのつなぎ：出番づくり） ・地縁組織（地区・校区社協、地域連携組織等）による各会議への参加と情報提供・共有や提案 ・社会資源一覧表の更新（改訂版発行） ・地域における各会議や学習会等への参加と周知（※住民自身が地域の為に出来る事の抽出、気付きの場） ・ボランティア団体との連携 ・サロン会（高齢者の集いの場）新規発足支援（説明会）→1地区 ・市内社会福祉普及推進校との連携（福祉体験学習の実施等）
3. ネットワーク構築	・行政や関係機関等との連携、情報共有 ・NPOやボランティア団体等との連携、情報共有 ・地縁組織（地区・校区社協、地域連携組織等）との連携、情報共有 ・各地区集落支援員との連携、情報共有 ・市内社会福祉普及推進校との連携、情報共有 ・串間市社会資源一覧表の活用
4. ニーズと取組のマッチング（地域課題とサービスの調整）	・学習会や地域活動への参加により地域課題や地域資源の把握の為の取り組み（地域住民の意識向上） ・ボランティア活動に関わる人材確保とマッチング ・地域高齢者や要支援者等に必要なニーズと社会資源とのマッチング ・串間市自立支援型地域ケア会議への出席により、各ケースに対し必要とされる情報の提供や提案
5. 生活支援に関連する企画立案及び実施	・第1層協議体（串間市地域ふれあいケア会議）の開催 ・小地域ケア会議の開催（地区単位） ・生活支援サポーターフォローアップ研修及び意見交換会

6. 認知症地域支援・ケア向上事業

○事業の目的

認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、認知症の容態の変化に応じ、全ての期間を通じて必要な、医療・介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人に対して効果的な支援が行われる体制を構築する。

○実施体制

認知症地域支援推進員の配置

○認知症地域支援推進員の業務内容

- ・地域において認知症の人を支援する関係者（医療・包括・認知症サポーター等）との連携（南那珂医師会や認知症サポート医、認知症疾患医療センターの専門医等）
- ・認知症ケアパスの作成・普及
- ・認知症地域支援推進員を中心に地域の実情に応じて地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や支援体制の構築（「認知症初期集中支援チーム」との連携と調整）
- ・病院、介護保険施設等における認知症対応力向上を図るための支援や地域密着型サービス事業所等での在宅生活継続の為の相談・支援、認知症の人の家族に対する支援（認知症カフェ等）、認知症ケアに携わる多職種協働の為の研修等

○活動実績

実施項目	内容
1. 認知症サポーター養成講座	・実績：4 団体33名・小学校2校（福島・本城小学校）：101名 →合計：133名 * オレンジサポーター新規登録：7名（受講者を対象に登録を募集）
2. 認知症サポーターステップアップ研修	・実績：秋山地区：3月10日（日） 参加者32名 本城地区オレンジカフェ：3月19日（火）参加者14名 →合計：2団体・46名 ・対象者：認知症サポーター養成講座終了者 * 認知症に関する地域づくり「チームオレンジについて」の内容で開催
3. 郡司部自治会認知症高齢者等見守り声掛け模擬訓練	・開催日：令和6年3月3日（日） - 開催場所：郡司部公民館 - 参加者：32名 ◎認知症の方への声掛け・見守り、対応方法及び認知症高齢者等見守りシール（QRコード）の読み取り方法の実践 * 小地域開催（自治会単位で初めての実践）
4. 本城地区オレンジカフェ	・開催日時：毎月第三火曜日 午後2時～ - 開催場所：本城ふれあいセンター - 実績：11回開催 延べ参加人数：207名 * 地域連携組織「まちづくり協議会チーム本城」との連携 →互助輸送を活用・・・移動手段がない高齢者に対し送迎支援を提供
5. 認知症の人と暮らす家族の集い	・開催日時：毎月第4木曜日 午後2時～ - 開催場所：道の駅くしま 交流館イベント室 - 実績：10回開催 延べ参加人数：78名
6. アルツハイマー月間（9月）	* 認知症普及啓発活動 - 場所：串間市総合保健福祉センター - 内容：希望を叶えるヘルプカードの展示 認知症高齢者等見守りシール（QRコード）の展示 認知症に関連した各種パンフレットの紹介 - 場所：串間市立図書館 - 内容：認知症に関連した内容の本の紹介及び無料相談会
7. 認知症勉強会	- 内容：『認知症への理解を深める』ための勉強会 - 実績：8カ所開催 延べ参加人数：63名 ◎自治会、サロン会、いきいき元気教室等への参加者を対象に開催
8. 認知症多職種協働研修	・開催日：7月14日（金） - 開催場所：串間市総合保健福祉センター 2階研修室 ・対象者：市内医療機関、介護保険事業所の職員等 延べ参加人数：70名 【講演】 - 題目：1) 認知症の家族を通して多職種へ伝えたいこと 講師：認知症の人と家族の会 2) レビー小体型認知症及びBPSDの対応について 講師：県南病院 認知症サポート医
9. 認知症ケアパス（ガイドブック）の作成・普及	・令和5年度版作成・発行 - 各地区支所、市内医療機関、介護保険事業所等に配置 - その他、各関係機関、団体等への説明と配布

7. 串間市社会福祉協議会緊急用食糧等給付事業

●フードバンク事業

当事業は、経済的困窮等により緊急且つ一時的に食料等の確保が困難となり、生命の危機に至る恐れが懸念される状態の場合に、串間市社会福祉協議会と本事業に参画する市内の社会福祉法人が食料品等の現物を給付し、生活再建に向けた支援を協働して実施することを目的とする。

フードバンク事業年度別実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
4月	3	0	1	0	6
5月	1	1	0	3	2
6月	1	1	4	3	0
7月	2	2	1	1	0
8月	1	0	2	4	2
9月	3	0	5	2	0
10月	1	0	6	0	0
11月	0	3	0	6	0
12月	1	3	3	3	0
1月	0	2	0	2	0
2月	0	6	1	1	1
3月	1	3	0	5	1
合計	14	21	23	30	12

※事業指定法人（本市における加盟施設）

1	社会福祉法人	黒潮会【寿楽園】
2	社会福祉法人	深緑会【さつき園】
3	社会福祉法人	大乘福祉会【串間保育園】
4	社会福祉法人	かんな会【かんな保育園】
5	社会福祉法人	瀧口会【あすか園】
6	社会福祉法人	むつみ会【げんきの森】

●みやざき安心セーフティネット事業《宮崎県社会福祉協議会より指定を受けた社会福祉法人》

社会的孤立や経済的困窮を背景にした生活困窮者等に対し、逼迫した状況にある場合における現物給付による支援を実施し、生活困窮者等の自立を支援することを目的とする。

当事業は、社会福祉法人による自主的な社会貢献の取り組みであり、参加する社会福祉法人(施設)からの会費をもって基金を設置し、相談や経済的援助（現物給付）を行っている。（事業基金設置：県社協）

みやざき安心セーフティネット事業年度別実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
4月	1	0	0	0	0
5月	2	0	1	1	0
6月	1	0	0	0	1
7月	1	0	0	1	0
8月	0	0	0	0	0
9月	2	0	1	0	0
10月	1	1	1	0	1
11月	0	1	0	0	0
12月	1	0	0	1	0
1月	0	0	1	0	0
2月	1	0	0	0	1
3月	1	0	0	1	0
合計	11	2	4	4	3

※事業指定法人（本市における加盟施設）

1	社会福祉法人	黒潮会【寿楽園】	【望洋の郷】	【めぐみの郷】
2	社会福祉法人	深緑会【さつき園】		
3	社会福祉法人	幸寿会【幸寿園】		
4	社会福祉法人	むつみ会【げんきの森】		

令和5年度 串間市地域包括支援センター運営業務報告

1 総合相談業務(介護保険法第115条の45号第2項第1号)

(1) 地域住民や関係者への広報

- ① パンフレットの作成
- ② 情報誌への掲載

(2) 利用経路 3,745 件 (延人員)

来所	1,013	電話	1,532	書面	12	訪問	1,108	その他	80
----	-------	----	-------	----	----	----	-------	-----	----

(3) 相談者内訳 3,745 件 (延人員)

本人	1,279	家族(同居)	388	家族(別居)	672	近隣者	54	民生委員	148
行政機関	126	サービス事業所	113	介護支援専門員	210	医療機関	281	親戚	127
警察署	89	金融機関等	7	他相談支援事業所	78	商工関係等	19	匿名	2
家族(県外)	113	その他	39						

(4) 相談者内容内訳

内容	件数
見守り・安否確認等	345
困難事例対応	19
介護保険サービスについて	1,223
施設入所・退所に関する事	186
医療について	397
問題行動に関する事	75
免許返納に関する事	121
生活環境について	264
食について	123
認知症について	352
感染症影響	2
経済的なこと	271
虐待について	49
成年後見制度等について	86
消費者被害防止	13
金銭管理・死後の事務	135
介護支援専門員の支援	70
苦情に関する事	11
その他	3
総相談件数	3,745

(5) 関係機関とのネットワーク構築

① 串間市民生委員・児童委員各地区定例会

各地区民児協	開催日	備考
福島地区民児協	第2木曜日	地域の情報共有及び相談・周知啓発
北方地区民児協	第2水曜日	地域の情報共有及び相談・周知啓発
大東地区民児協	第2金曜日	地域の情報共有及び相談・周知啓発
本城地区民児協	第2水曜日	地域の情報共有及び相談・周知啓発
都井地区民児協	第2火曜日	地域の情報共有及び相談・周知啓発
市木地区民児協	第2火曜日	地域の情報共有及び相談・周知啓発

② 串間市介護事業所連絡会

串間市介護支援専門員連絡会	第3水曜日	17:30～	意見交換・情報の共有・在宅介護課題の整理等
---------------	-------	--------	-----------------------

③ 認知症初期集中支援チーム

認知症初期集中支援チーム定例会	第2木曜日	15:30～	意見交換会・情報の共有
-----------------	-------	--------	-------------

④ 訪問介護事業所意見交換会

令和5年10月19日と令和6年1月26日の2回開催した。訪問介護事業所間での意見交換と行政からの事務連絡を行った。

⑤ 通所介護事業所意見連絡会

令和5年11月16日に開催した。事前アンケートをもとに通所介護事業所間での情報交換と介護保険改定についての共有を行った。

・連絡調整、情報の共有、同行訪問、ケース会議の開催などで以下の機関と連携を行い、支援体制を構築してきた。

民生委員等 152 件、認知症地域支援推進員 117 件、日常生活自立支援事業専門員 128 件、生活支援コーディネーター 10件、串間市生活相談支援センター 82 件、認知症疾患医療センター 2件、認知症初期集中支援チーム 27件、他行政等 331 件

○ 地域におけるネットワークの構築

・市内のサロン会(25カ所)、本城・都井地区生活支援サポーター養成講座、各地区民生委員児童委員定例会にて合計189名の参加者に対し、地域包括支援センターの機能と役割、権利擁護、介護保険制度、高齢者虐待、消費者被害防止の周知啓発を行った。

また、話し相手ボランティア(地域生活支援センター)と串間サロン会(串間公民館)においては、合計16名に対して高齢者等介護保険施設についての説明を行った。

・市内の「民生委員児童委員各地区定例会」等には出会(延べ82回)に努め、地域の気になる高齢者の情報共有を行った。また、小地域ネットワークカードの整備を181件行い、地域での要援護者への支援体制構築を図った。

○ 実態把握

・令和5年度の相談件数は、3745件で訪問や電話等での実態把握は1192件であった。そして実人数38名に対して、75回のケース会議等を開催し、支援の方向性などを協議した。

○ 相談業務

- ・令和5年度の相談件数は3745件で、その内訳は来所1013件、電話1532件、書面 12件、訪問1108件、そのほか80件であった。
- ・認知症疾患等に関する相談は、延べ352件であり定期的に認知症初期集中支援チームとの意見交換会、個別の支援の協議、同行訪問等で連携した。
- ・福祉センター外での相談窓口として、1回/月のサテライト相談室を実施した。
- ・ひなた運転健康教室後に、介護相談を実施した。

2 権利擁護事業(介護保険法第115条の45第2項第2号)

(1)権利擁護に関する啓発

○市内のサロン会(25ヶ所)、本城・都井地区生活支援サポーター養成講座、各地区民生委員児童委員定例会(延べ82回)にて、権利擁護、高齢者虐待の周知啓発を行った。
○日南串間成年後見ネットワーク協議会に出席し、地域の成年後見制度の課題等の情報共有を図り、地域の事例の提出を行った。

会議名	開催日	開催場所
日南串間成年後見ネットワーク協議会	令和5年5月26日	串間市総合保健福祉センター2階大研修室
日南串間成年後見ネットワーク協議会	令和5年8月25日	串間市総合保健福祉センター2階大研修室
日南串間成年後見ネットワーク協議会	令和5年11月10日	串間市総合保健福祉センター2階大研修室
日南串間成年後見ネットワーク協議会	令和6年2月9日	串間市総合保健福祉センター2階大研修室

(2)高齢者虐待への対応(困難事例を含む)

○高齢者虐待が疑われる相談や情報提供が8件あり、串間市や関係機関と連携を図り、うち2件は高齢者虐待認定として対応した。
○困難事例については、実人数 39 名に対して、75回のケース会議等を開催して、支援の方向性等を協議してきた。

(3)成年後見制度(任意後見契約及び委任代理契約、日常生活自立支援事業等を含む)

○日常生活自立支援事業担当者と相談者の情報を共有し、同行訪問等を行い、うち5名を同事業の利用に繋いだ。
○成年後見制度の申立てが必要だと思われる事例については、センター主催の地域ケア会議を開催して串間市や公証役場等とも連携を図り、4名は委任代理契約に繋ぎ、1名は司法書士に申立て支援を依頼した。
○以前より日常生活自立支援事業を利用していた2名については、地域ケア会議等を開催し、市町村長申立てにつなげた。

(4)消費者被害の防止

○消費生活トラブルの相談件数は3件あり、日南串間消費生活支援センターや警察署等とも連携を図り、対応した。また、地域での見守りネットワークを強化するために、小地域ネットワークを1回開催した。
○市内のサロン会(25ヶ所)、本城・都井地区生活支援サポーター養成講座、各地区民生委員児童委員定例会(延べ82回)にて合計189名の参加者に対し、「地域安全情報」にて、消費者被害防止に関する周知啓発を行った。
○宮崎県消費生活センター出前講座を活用して、参加者28名に対して、消費者トラブルを未然に防止するための学習機会の提供を行った。

3 包括的・継続的ケアマネジメント業務(介護保険法第115条の45第2項第3号)

(1) 包括的・継続的ケア体制の構築

①関係機関との連携

串間市介護支援専門員連絡会	毎月第3(水)	17:45～	情報交換・在宅介護課題等の整理
各地区民児協	各地区毎月開催	各地区毎に設定	地域の情報共有及び相談、周知啓発

②地域との連携

・毎月各民児協定例会にて要支援・要介護の高齢者等の情報共有を図ってきた。

③「地域ケア会議」の設置

・各居宅介護支援事業所が担当している12名の利用者に対して延べ19回のケース会議を開催し、情報共有及び課題解決に向けての協議を行ってきた。

・1地域内で小地域ケア会議を開催し地域内での活動等について意見交換し、地域内での互助力として展開できないか検討している。

④地域課題への取り組み

ひなた運転健康教室(6地域で開催)

実施日	開催場所	開催地域	参加人数
R5年7月27日	道の駅くしま交流館	福島地区	14名
R5年9月29日	串間市農村環境改善センター	北方地区	6名
R5年10月30日	都井支所研修室	都井地区	14名
R5年11月22日	いこいの里内本城公民館	本城地区	11名
R5年11月27日	大東支所研修室	大東地区	10名
R5年12月20日	市木中央公民館	市木地区	27名

⑤在宅ケアの支援

・家族介護教室

開催日時	開催場所	参加人数
R5年5月30日	道の駅くしま交流館多目的ホール	8名
R6年2月16日	道の駅くしま交流館多目的ホール	36名

(2) 介護支援専門員に対する支援

①介護支援専門員に対する個別支援

※年度別相談件数内容

	ケアマネジメント	社会資源紹介	主治医連携	包括内連携	対人援助技術	制度説明確認	研修・学習	個人の悩み	同行訪問	その他
R2年度(90件)	44	8	1	10	2	11	0	21	7	13
R3年度(69件)	27	1	1	7	8	25	0	10	8	6
R4年度(54件)	12	5	2	13	4	18	2	5	16	6
R5年度(93件)	35	14	9	5	13	24	2	17	23	12

②介護支援専門員に対する支援

・介護保険係職員・居宅支援事業所及び包括内主任介護支援専門員で構成したプラン点検委員5名で、市内居宅支援事業所(10ヶ所)の介護支援専門員18名に対してケアプラン点検を実施した。プラン点検から見えたケアマネジメントの課題を個別にフィードバックし、プラン点検の課題と振り返りとして研修会を企画し介護支援専門員全員が適切なケアマネジメントが行えるようフィードバックした。

③介護保険制度に関する啓発活動

・本城・都井・福島地区のサロン会(下平)(上平)(上千野)(徳間)(今町)(下千野)(中園)(東)(西小路1)(崎田)(迫)(上塩)(西方)(寺里1)(立字津)(上町)(鹿谷)(宮ノ浦)(西小路2)(本町1)(東町)(道場)(寺里2)(木代)(鍛冶屋)合計25ヶ所189名に説明する。

また市内施設についての説明も2ヶ所16名に対して行う。

・生活支援サポーター養成講座

開催日時	開催場所	参加人数
R5年12月15日	いこいの里内本城公民館	6名

介護保険制度及び串間市の状況について説明した。

・生活支援サポーターフォローアップ研修・意見交換会

R6年3月22日	いこいの里内本城公民館	14名
R6年3月27日	都井支所研修室	13名

(3) 事例検討会・研修会等による支援

事例検討会・研修会

実施日	研修名
R5年11月～R5年12月	ケアプラン点検
R6年2月16日	ケアプラン点検フィードバック研修
毎月介護保険請求後	介護予防ケアマネジメント研修
毎月第1, 3水曜日	自立支援型地域ケア会議(介護予防ケアマネジメント事例検討; 介護保険係主催)

4 指定介護予防事業及び第一号介護予防支援事業実績
(法第8条の2第16項及び法第115条の45第1項第1号二)

介護予防ケアプランのモニタリングと効果の評価

区 分	事業対象者		要支援1・2		令和5年度合計		令和4年度合計	
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率
改 善	3	3.3%	16	7.4%	19	6.1%	18	5.9%
維 持	62	67.4%	137	63.1%	199	64.4%	213	69.4%
悪 化	23	25.0%	60	27.7%	83	26.9%	70	22.8%
終 了	4	4.3%	4	1.8%	8	2.6%	6	2.0%
合 計	92	100.0%	217	100.0%	309	100.0%	307	100.0%

※改善(介護認定結果の改善、介護サービス利用量の減少、改善に伴うサービス利用終了)

※維持(介護認定結果の維持、介護サービス利用量の維持)

※悪化(介護認定結果の悪化、介護サービス利用量の増加) ※終了(転居、施設入所、死去)

介護予防マネジメントに基づくケアプラン提出件数

区 分	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	回数	件数	回数	件数	回数	件数
	13	218	15	238	17	261

医療機関との連携を行った件数(入院・退院時のコンセンサスルールブックに基づき実施)

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度
入院時	70	68	82
退院時	48	46	53

介護予防及び日常生活自立支援総合事業ケアマネジメント給付管理件数

区 分	総合事業		介護予防		令和5年度合計		令和4年度合計	
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率
新 規	56	3.5%	33	4.6%	89	3.8%	82	3.2%
継 続	1551	96.5%	688	95.4%	2,239	96.2%	2,512	96.8%
合 計	1607	100.0%	721	100.0%	2,328	100.0%	2,594	100.0%

配食サービス・住宅改修のみのケアマネジメント給付管理件数

区 分	事業対象者	要支援1・2	要介護1～5	令和5年度合計
配食サービス	2	1	2	5
住宅改修	0	9	4	13
合 計	2	10	6	18

福祉用具購入のみの支援件数	4
介護予防支援事業勉強会回数	6